

海老名市 橋りょう長寿命化修繕計画 (橋りょう個別施設計画)



(写真 : あゆみ橋)

令和 7 年 4 月改定

(令和 5 年 4 月改定) (令和 4 年 12 月改定) (令和 2 年 4 月改定)
(平成 30 年 3 月改定) (平成 25 年 5 月策定)



海老名市

目 次

1. 長寿命化修繕計画の背景と目的	1 頁
2. 長寿命化修繕計画の対象橋りょう	2 頁
3. 状態把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	2 頁
4. 老朽化対策における基本方針	4 頁
5. 長寿命化及び修繕に係る費用の縮減に関する基本的な方針	6 頁
6. 次回点検及び修繕内容・時期	7 頁
7. 長寿命化修繕計画による効果	8 頁
8. 新技術等の活用について	9 頁
9. 集約化・撤去について	9 頁
10. 意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者	9 頁
11. 修繕計画の策定及び改定履歴	10 頁

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

インフラ施設の維持管理については、平成 25 年 11 月に国が策定したインフラ施設長寿命化基本計画のなかで、機能の確実かつ効率的な確保及び中長期的視点に立ったコスト管理等の観点から各インフラ管理者に個別施設毎の長寿命化計画を策定するよう示されました。

本市においても、平成 26 年 11 月に海老名市公共施設白書、平成 29 年 3 月に海老名市公共施設再編（適正化）計画が策定され、インフラ施設について、国の方針に準じて、長寿命化に取り組み、新設と維持管理のバランスを図りながら両者を実施していくこととしています。

また、平成25年6月に道路法が改正され、道路施設の点検に関する技術的基準が規定されたほか、平成26年7月には道路法施行規則の一部改正する省令などが施行され、道路管理者に対して、橋長2m以上の管理する全ての橋りょうを5年に1回、近接目視により定期点検を行うことが義務付けられました。そのため、令和元年度から令和5年度に全管理橋りょうの219橋について、定期点検を実施しました。

海老名市橋りょう長寿命化修繕計画については、定期点検結果に基づき、橋りょうの将来にわたる確実な機能確保及びトータルコストの縮減とメンテナンスサイクルの構築を図るために計画を策定します。

2) 目的

橋りょうの中長期的な維持管理等に係るトータルコストを縮減し、予算を平準化していくためには、インフラの長寿命化を図り、大規模な修繕をできるだけ回避することが重要です。このため、橋りょうの特性を考慮の上、安全性や経済性を踏まえつつ、損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る「予防保全型維持管理」を着実にを行うため、長寿命化修繕計画を策定します。

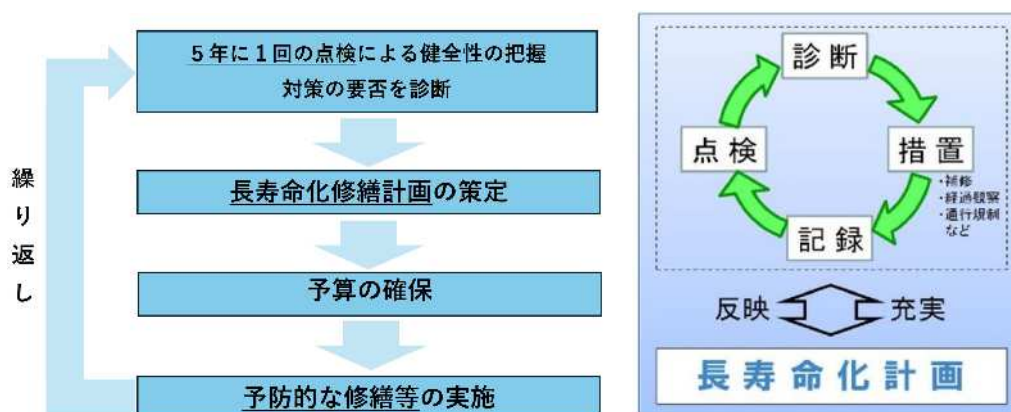


図1-1 点検・診断における評価の流れ

※出典：道路のメンテナンスサイクルの構築に向けて／平成 25 年 6 月
／社会資本整備審議会 道路分科会 道路メンテナンス技術小委員会

2. 長寿命化修繕計画の対象橋りょう

	緊急輸送道路 補完道路	幹線道路	その他道路	合計
全管理橋りょう数	20	26	173	219
長寿命化修繕計画策定対象橋りょう数	20	26	173	219

※幹線道路は、緊急輸送道路以外の1級道路及び2級道路とする。

3. 状態把握及び維持管理の基本的な方針

1) 健全性の状態

本市では、令和元年度から令和5年度までに219橋の定期点検を実施しました。定期点検は、平成26年7月に「道路法施行規則の一部を改正する省令」等が施行されたことから、点検・診断の結果として、橋りょうの健全性を表3-1に示す区分に分類しています。

表3-1 健全性の診断

健全性の区分		状態	健全度※
Ⅰ	健全	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。	5
		損傷が軽微であるが、状況に応じて補修を行う必要がある。	4
Ⅱ	予防保全	予防保全の観点から状況に応じて補修を行う必要がある。	3
Ⅲ	早期措置	速やかに補修等を行う必要がある。	2
		安全性が著しく損なわれており、早急な補修が必要である。	1
Ⅳ	緊急措置	橋りょう構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。	緊急措置対応

※健全度・・・神奈川県市町村版定期点検要領【橋りょう編】に準拠。

2) 健全性の把握及び維持管理

橋りょうの健全性の把握については、神奈川県市町村版定期点検要領【橋りょう編】に基づいて近接目視により5年に1回の頻度で行うことを基本とし、橋りょうの損傷を早期に把握します。なお、橋りょうの損傷は、第三者に被害を及ぼす恐れがあることから、健全度を基に橋りょうの健全性を判断していきます。

表3-2に健全性の区分と管理方針等を示します。健全性がⅡ以下となった段階で、必要な修繕を実施し、健全性「Ⅰ」を確保していきます。

表3-2 健全性の区分と管理方針

健全性		健全度	管理方針	修繕優先度
Ⅰ	健 全	5	日常的な管理方針	(低い) (高い)
		4		
Ⅱ	予防保全段階	3	予防保全修繕方針	
Ⅲ	早期措置段階	2	早期修繕対応方針	
		1		
Ⅳ	緊急措置段階	緊急措置対応		

ただし、第三者被害のおそれの無い溝橋(ボックスカルバート)や単径間の床版橋等で、構造特性や周辺状況により、大規模修繕を行う際の社会的影響が小さいと判断した橋りょうについては、表3-3に示す維持管理の考え方のうち「事後保全型」の管理をしています。

表3-3 維持管理の考え方

管理区分	維持管理の主な考え方	対応の水準	対象 橋りょう数
予防保全型	定期的に点検・診断を行い、機能に支障が生じる前に小規模修繕を行う。	健全性の区分がⅡ以下となった段階で小規模修繕を行い、健全な状態(健全性の区分Ⅰ)を保つ。	90
事後保全型	機能に支障が生じてくる段階で大規模修繕を行う。	健全性の区分がⅢとなった段階で、大規模修繕を行い、健全な状態(健全性の区分Ⅰ)を保つ	129

- ・計画的な維持修繕行っていくことにより、橋りょうを長期間に渡り利用していくとともに、将来の維持管理費における財政負担の軽減を行いながら、道路機能の維持をしていきます。
- ・定量的なデータに基づく合理的な管理手法を導入することで、計画的な維持管理及び計画の更新を実施していきます。

3) 日常的な維持管理

橋りょうを良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール、清掃などの実施を徹底します。

なお、地震及び集中豪雨が発生した場合は、橋りょうの状態を確認するために行う臨時点検などを実施します。

4. 老朽化対策の基本方針

修繕の優先順位の考え方

計画的な措置を行う上で、必要となる予算が特定の年度へ集中することを回避し、予算を平準化するため、重要度指標を定めます。重要度指標は、老朽化により健全性が低下するリスクと事故等のリスクによる影響度を考慮して定めており、修繕を行う優先順位は、重要度指数採点合計により決定していきます。

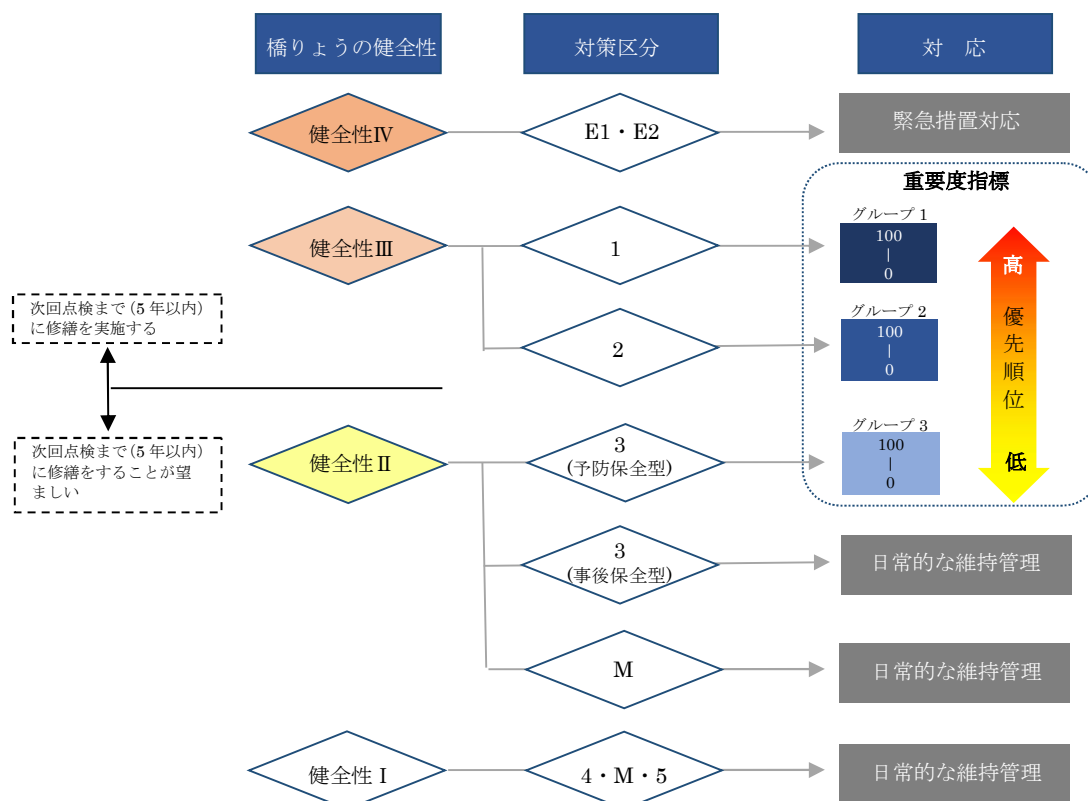


図4-1 修繕の優先順位

表4-1 対策区分

健全性	対策区分	内 容
IV	E1	構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある（落橋等）
	E2	交通障害や第三者被害の恐れがあり、緊急対応の必要がある。
III	1	構造の安全性が著しく損なわれており、早急な補修が必要である。
	2	構造の安全性の観点から、速やかな補修が必要である。
II	3	予防保全の観点から状況に応じて補修を行う必要がある。
	M	維持工事で対応する必要がある。
I	4	損傷が軽微であるが、状況に応じて補修を行う必要がある。
	M	状況に応じて維持工事で対応する必要がある。
	5	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない

表4-2 対策区分の判定における着目点

評価項目	評価項目の考え方
主要部材の健全度	主桁、横桁、橋台など部材及び部位毎の健全度
主要部材以外の健全度	伸縮装置、支承、高欄、舗装など部材及び部位毎の健全度

表 4－3 対策区分の判定における損傷事例

判定区分	損 傷 事 例
E1	桁の異常な移動により落橋のおそれがある場合
E2	コンクリート塊が落下し、通行人などに被害を与える恐れが高い場合
1	コンクリート部材に生じたひびわれが広範囲であり、かつ広範囲に鉄筋露出があり、限定的な鉄筋破断を伴う場合
2	コンクリート部材に生じたひびわれのうち限定的な鉄筋破断を伴う場合
3	コンクリート部材に生じた数の少ないひび割れや腐食に繋がる危険性のある箇所での防食機能の劣化、関連する損傷の原因排除の観点から伸縮装置からの漏水や床版水抜きパイプの詰まり等がある場合
M	支承や排水施設に土砂詰りがある場合

表 4－4 重要度指数採点表

視 点	評価項目		配点
利 用 者	緊急輸送路指定	緊急輸送路に指定されている	15
		緊急輸送路に指定されていない	0
	路線種別	1 級道路	5
		2 級道路	3
		その他道路	0
	交通量 （総交通量）	4,000 台/日以上	10
		1,500 台/日以上～4,000 台/日未満	7
		500 台/日以上～1,500 台/日以上未満	3
		500 台/日未満	0
バス路線	バス路線	5	
	その他	0	
第 三 者	交差条件	高規格道路・鉄道（NEXCO、新幹線）	20
		上記以外の鉄道（JR 在来線、JR 貨物、私鉄）	15
		国道・県道	10
		市道・その他第三者被害の恐れがある施設	5
		その他（河川・用水路等で第三者被害の恐れがない施設）	0
管 理 者	構造条件	特定の溝橋(ボックスカルバート)以外	10
		特定の橋りょう	5
		特定の溝橋(ボックスカルバート)	0
	交通状況	車道橋	5
		人道橋	0
	施設規模	橋長 50m 以上	10
		橋長 15m 以上 50m 未満	5
		橋長 15m 未満	0
	経過（供用） 年数	50 年以上	10
		50 年未満	0
	大型車交通量	1,000 台/日・方向以上	5
		500 台/日・方向以上 1,000 台/日・方向未満	3
		500 台/日・方向未満	0
	塩害等影響度	海岸線からの距離 200m 以下又は凍結防止剤散布あり	5
		海岸線からの距離 200m を超えるかつ凍結防止剤散布無し	0
			100

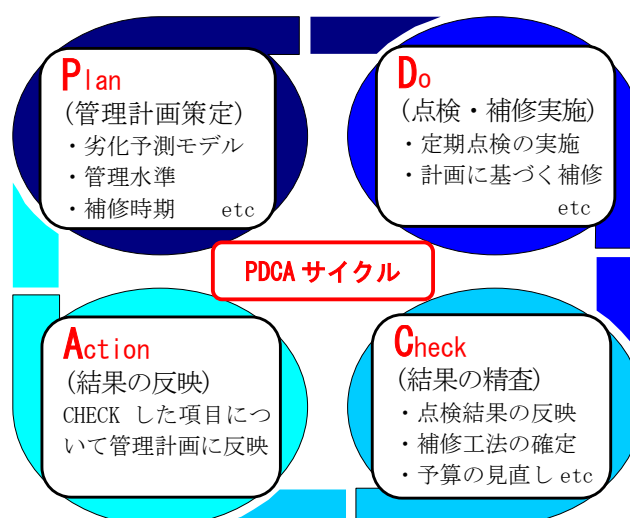
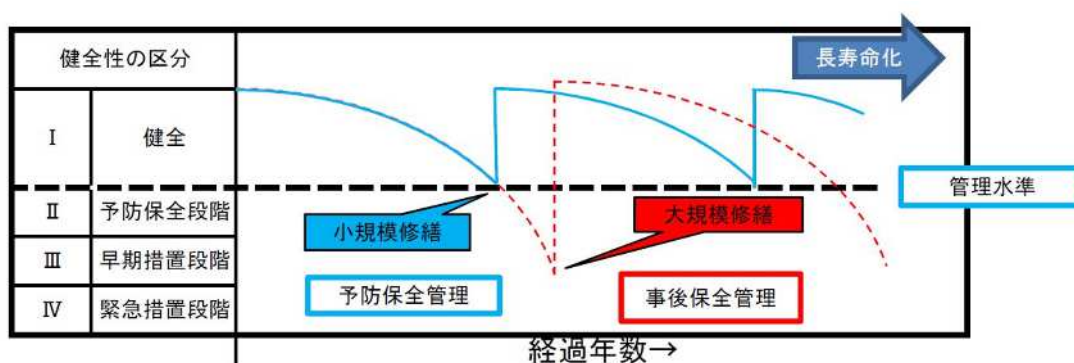
※ 各グループ内で修繕の優先順位を決定する際に使用。

※ 重要度指数は、神奈川県都市整備技術センターで定めた橋りょう長寿命化修繕化計画基本方針に準拠。

5. 長寿命化及び修繕に係る費用の縮減に関する基本的な方針

予防的な修繕等の実施を徹底することにより、修繕等に係る費用の低コスト化を図り、トータルとしてのライフサイクルコストの低減を目指します。

また、PDCAサイクルを確実に実行することで、計画的な維持管理を実施していくこととします。



※計画的な維持管理を実施するため、橋りょうに関する「橋りょう諸元」や「定期点検結果」、「修繕履歴」等のデータ蓄積が必要となります。

そのため、橋りょうの定期点検結果や修繕履歴等を蓄積し、検証することにより、健全性の評価や部材耐用年数及び劣化予測式を見直し、効率的な維持管理を実施します。

6. 次回点検及び修繕内容・時期

次回点検時期及び今後概ね5年間で対策する修繕内容・時期については、次のとおりです。

1) 次回の橋りょう点検

橋りょう点検は、神奈川県市町村版定期点検要領【橋りょう編】に基づき実施し、近接目視により5年に1回の頻度で行います。



写真 6－1 橋りょう点検状況

2) 橋りょうの修繕内容・時期

橋りょうの修繕内容及び時期については、最新の点検結果に基づき橋りょうの健全性及び第三者への被害予防などを考慮し、具体的な修繕の内容及び実施時期における計画を策定し、修繕事業を進めていきます。

なお、橋りょうの状態や修繕内容及び時期については、【別紙1】に示します。

表 6－1 代表的な修繕工法の事例

修繕工法	概 要
塗装塗替	鋼部材の錆をケレンにより取り除き、再塗装を行い鋼材部の防食機能の維持と美観の回復を目的として行う。
ひび割れ注入工 断面修復工	コンクリート部材に生じたひび割れ箇所に、注入材料を注入する工法で、コンクリートの剛性を回復し、コンクリートの一体性を確保することを目的として行う。また、鉄筋コンクリート工における鉄筋の防錆対策としても用いられる。

7. 長寿命化修繕計画による効果

219 橋の橋りょうの修繕などに要する費用は、劣化や損傷が軽微なうちに修繕を行う「予防保全型」と劣化や損傷が深刻化してから大規模な修繕を行う「事後保全型」の維持管理を実施した場合とで比較しました。

今後 50 年間のシミュレーションの結果では「事後保全型」は約 33.1 億円の経費となり、「予防保全型管理」では約 24.0 億円の経費となりました。「予防保全型」の維持管理をすることにより、約 27%のコスト削減効果（差額約 9.1 億円）が見込まれます。

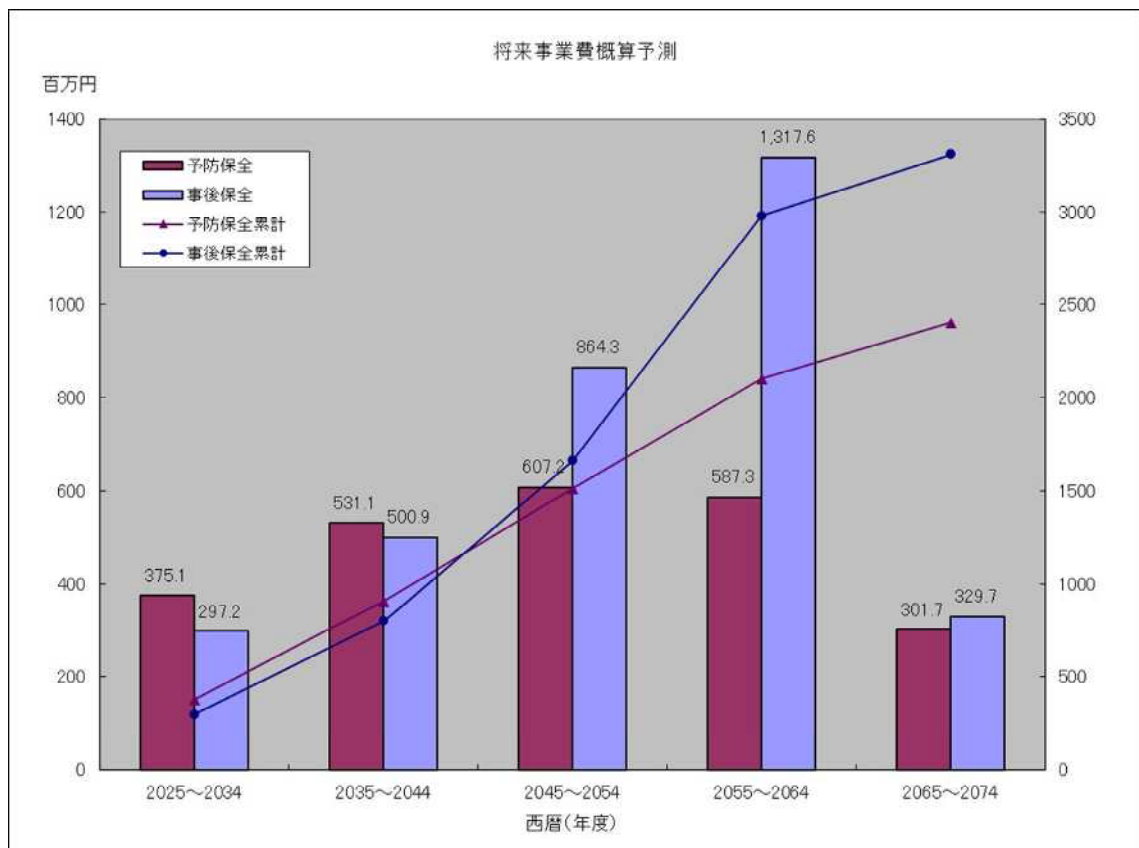


図 7 - 1 50 年間の維持管理・更新費の比較試算結果

※上記経費の算出については、今後、橋りょうの定期点検データを蓄積していくことで、更なる精度向上が図れるため、現在の値に固定化されるものではありません。

8. 新技術等の活用について

1) 新技術の活用方針

道路施設の点検や修繕等の実施にあたっては、国土交通省の点検支援技術性能カタログ（案）や新技術情報提供システム（NETIS）などを参考に新技術等の活用を図ります。

点検方法に関して適用性が高い新技術は、無人航空機（UVA：ドローン）や橋りょう点検ロボットカメラなどが挙げられます。橋りょうの架設状況や前回点検の結果等を踏まえて、新技術活用を検討します。

なお、実施期間は、令和7年度～令和11年度の5年間で検討します。

修繕に関して国土交通省の新技術情報提供システムなどで、従来技術と新技術の比較検討が記載され、コスト縮減が期待でき、かつ、施工実績がある工法を全219橋のうち、修繕対象となっている12橋において、比較検討を実施し、実効性のある最適な修繕工法を選定します。

2) 新技術の活用による短期的な数値目標及びコスト縮減目標

前回点検（令和元年度～令和5年度）で橋りょう点検車を使用した21橋のうち、2橋の橋りょうで新技術の活用を目指します。また、前回点検において6橋の橋りょうで新技術であるロボットカメラを活用しているため、合計で63万円のコスト縮減を目指します。

また、修繕では修繕対象（令和7年度～令和11年度の5年間）となっている12橋のうち、1橋程度で新技術の活用を目指し、約10万円のコスト縮減を目指します。

9. 集約化・撤去について

1) 集約化・撤去における方針

利用状況が低く、損傷状況が悪い橋りょう（定期点検結果が健全性Ⅲ又はⅣ）及び集約化・撤去の検討が可能と判断できる橋りょうを検討対象とします。または、河川改修事業等に伴い集約化・撤去が計画されている橋りょうや車道橋が隣接するため、人道橋に機能縮小が可能と判断できる橋りょうを抽出し、検討します。

なお、実施期間は、令和7年度～令和11年度の5年間で検討します。

2) 集約化・撤去による短期的な数値目標及びコスト縮減目標

対象橋りょうのうち、河川改修事業等に伴い集約化・撤去が計画されている橋りょうを2橋抽出しました。集約化・撤去により、5年間で約47万円の維持管理費の削減を目指します。

10. 意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

関東学院大学 理工学部

横浜国立大学 大学院 都市イノベーション研究院

出雲 淳一教授

勝地 弘 教授

参考．修繕計画の策定及び改定履歴

年 月	策定及び改定内容
平成25年5月	橋長15m以上及び2m以上の重要な橋りょう（緊急輸送路、跨線橋等）48橋を対象とする「橋りょう長寿命化修繕計画」の策定。
平成30年3月	平成24年12月の中央道笹子トンネル天井崩落事故を受け、国は平成25年11月にインフラ長寿命化基本計画を策定、平成26年7月に道路法施行規則を改正し、全管理橋の5年に1回の近接目視点検が義務化された。 これにより、平成26年度から進めてきた全管理橋りょうの近接目視点検の結果を基に171橋を長寿命化修繕計画に追加。
令和2年 4月	健全性Ⅱ及びⅢ判定橋りょうの「修繕対策の内容」を追加。
令和4年12月	国の制度改正に伴い「老朽化対策における修繕の優先順位の明確化」、「修繕・点検等で新技術等の活用方針」、「短期的な数値目標等」を追加。
令和5年 4月	橋りょうの撤去集約及び新設に伴い修繕計画を改定。
令和7年 4月	令和元年度から進めてきた全管理橋りょうの近接目視点検の結果を基に219橋の長寿命化修繕計画を改定。

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容 (2025年～2029年)
	橋りょう名	橋長 (m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
1	亀島団地橋	11.50	鋼橋	1970	2022	Ⅱ (3)	予防保全型	2027	床板防水, ひび割れ注入, 断面修復, 塗装塗替え
2	亀島橋	11.50	鋼橋	不明	2022	Ⅰ (4)	予防保全型	2027	
3	1 1 号橋	2.40	溝橋	不明	2023	Ⅰ (4)	予防保全型	2028	
4	産川橋	25.10	鋼橋	1976	2021	Ⅲ (2)	予防保全型	2026	塗装塗替え, 当て板補修, 舗装補修
5	弥生橋	18.10	PC橋	1980	2021	Ⅰ (4)	予防保全型	2026	
6	動橋	2.20	RC橋	不明	2022	Ⅰ (4)	予防保全型	2027	
7	1 8 号橋	2.00	溝橋	不明	2023	Ⅰ (5)	事後保全型	2028	
8	伊勢下中村橋	18.00	PC橋	1992	2021	Ⅰ (4)	予防保全型	2026	
9	通学橋	13.10	鋼橋	1972	2021	Ⅰ (4)	事後保全型	2026	
10	2 6 号橋	4.60	RC橋	不明	2022	Ⅰ (4)	事後保全型	2027	
11	2 7 号橋	4.10	溝橋	不明	2023	Ⅰ (4)	事後保全型	2028	
12	鍛冶ヶ入り橋	4.60	溝橋	1981	2023	Ⅰ (4)	予防保全型	2028	
13	3 0 号橋	3.00	溝橋	不明	2023	Ⅰ (5)	事後保全型	2028	
14	3 2 号橋	3.50	溝橋	不明	2023	Ⅰ (4)	事後保全型	2028	
15	3 3 号橋	3.30	溝橋	不明	2023	Ⅰ (4)	事後保全型	2028	
16	3 5 号橋	3.00	溝橋	不明	2023	Ⅰ (4)	事後保全型	2028	
17	3 6 号橋	3.00	溝橋	不明	2023	Ⅰ (4)	予防保全型	2028	
18	3 7 号橋	6.60	PC橋	不明	2022	Ⅰ (4)	事後保全型	2027	
19	3 8 号橋	4.00	溝橋	不明	2023	Ⅰ (5)	予防保全型	2028	
20	3 9 号橋	4.00	溝橋	不明	2023	Ⅰ (4)	事後保全型	2028	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容 (2025年～2029年)
	橋りょう名	橋長 (m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
21	4 0 号橋	4.00	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
22	門澤橋	7.40	鋼橋	2010	2021	I (4)	事後保全型	2026	
23	世継橋	27.00	鋼橋	1990	2021	I (4)	予防保全型	2026	
24	大橋	21.50	RC橋	1988	2021	I (4)	予防保全型	2026	
25	4 5 号橋	6.00	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
26	4 7 号橋	5.30	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
27	4 9 号橋	4.20	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
28	5 0 号橋	4.20	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
29	5 1 号橋	4.20	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
30	5 2 号橋	4.20	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
31	5 3 号橋	3.90	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
32	5 5 号橋	4.80	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
33	5 6 号橋	4.20	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
34	5 7 号橋	5.70	PC橋	不明	2022	I (5)	事後保全型	2027	
35	5 8 号橋	3.90	溝橋	不明	2023	I (5)	事後保全型	2028	
36	5 9 号橋	3.80	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
37	6 0 号橋	3.60	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
38	6 1 号橋	3.60	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
39	6 2 号橋	3.70	溝橋	不明	2023	I (5)	事後保全型	2028	
40	6 3 号橋	3.70	溝橋	不明	2023	I (5)	事後保全型	2028	
41	6 4 号橋	5.00	RC橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容 (2025年～2029年)
	橋りょう名	橋長 (m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
42	6 5 号橋	3.20	RC橋	不明	2022	I (5)	予防保全型	2027	
43	6 6 号橋	3.80	PC橋	不明	2022	I (4)	予防保全型	2027	
44	入内島橋	19.70	PC橋	1983	2021	I (4)	予防保全型	2026	
45	6 8 号橋	2.10	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
46	6 9 号橋	2.10	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
47	7 0 号橋	22.60	溝橋	2008	2023	I (4)	予防保全型	2028	
48	下永池橋	16.64	PC橋	1978	2021	I (4)	予防保全型	2026	
49	上永池橋	17.66	PC橋	1995	2022	I (4)	予防保全型	2027	
50	池端橋	20.06	PC橋	1995	2021	I (4)	予防保全型	2026	
51	中河内大橋	18.00	PC橋	1994	2021	I (4)	予防保全型	2026	
52	7 6 号橋	2.50	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
53	南山下橋	16.90	PC橋	2006	2021	I (4)	予防保全型	2026	
54	8 5 号橋	6.10	鋼橋	1990	2021	I (4)	予防保全型	2026	
55	8 6 号橋	3.90	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
56	8 7 号橋	3.90	RC橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	
57	8 8 号橋	4.00	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
58	8 9 号橋	3.90	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
59	9 0 号橋	5.70	溝橋	不明	2023	I (5)	予防保全型	2028	
60	9 1 号橋	6.40	RC橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	
61	9 2 号橋	4.90	RC橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	
62	9 3 号橋	4.00	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容 (2025年～2029年)
	橋りょう名	橋長 (m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
63	9 6 号橋	5.86	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
64	9 7 号橋	3.20	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
65	9 8 号橋	4.40	RC橋	不明	2022	I (5)	事後保全型	2027	
66	1 0 0 号橋	3.60	溝橋	不明	2023	I (5)	事後保全型	2028	
67	1 0 1 号橋	3.90	溝橋	不明	2023	I (5)	予防保全型	2028	
68	1 0 2 号橋	4.00	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
69	1 0 3 号橋	3.70	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
70	1 0 4 号橋	4.20	RC橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	
71	1 0 5 号橋	3.60	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
72	1 0 6 号橋	3.60	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
73	1 0 7 号橋	3.60	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
74	1 0 8 号橋	3.70	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
75	1 0 9 号橋	2.50	RC橋	不明	2022	I (5)	事後保全型	2027	
76	境橋	14.70	RC橋	1984	2021	I (4)	事後保全型	2026	
77	貫抜橋	14.54	PC橋	1980	2021	I (4)	予防保全型	2026	
78	1 1 4 号橋	2.05	RC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
79	1 1 5 号橋	4.78	RC橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	
80	1 1 6 号橋	2.00	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
81	1 1 7 号橋	4.50	溝橋	不明	2023	I (5)	事後保全型	2028	
82	1 1 8 号橋	4.40	溝橋	不明	2023	I (5)	予防保全型	2028	
83	1 1 9 号橋	3.60	RC橋	不明	2022	I (5)	事後保全型	2027	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容 (2025年～2029年)
	橋りょう名	橋長 (m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
84	1 2 1 号橋	4.90	RC橋	不明	2022	I (M)	事後保全型	2027	
85	1 2 3 号橋	4.75	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
86	1 2 4 号橋	6.50	鋼橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	
87	1 2 5 号橋	6.60	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
88	1 2 6 号橋	4.60	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
89	1 2 9 号橋	6.40	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
90	1 3 0 号橋	8.56	RC橋	不明	2021	I (4)	事後保全型	2026	
91	1 3 2 号橋	4.00	RC橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	
92	1 3 4 号橋	2.90	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
93	1 3 5 号橋	5.15	RC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
94	1 3 6 号橋	5.40	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
95	1 3 7 号橋	5.20	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
96	1 4 0 号橋	4.70	RC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
97	1 4 1 号橋	3.40	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
98	1 4 2 号橋	4.60	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
99	1 4 3 号橋	3.50	RC橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	
100	1 4 4 号橋	2.85	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
101	1 4 5 号橋	2.85	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
102	1 4 6 号橋	2.85	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
103	1 4 7 号橋	3.80	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
104	1 4 9 号橋	5.00	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容 (2025年～2029年)
	橋りょう名	橋長 (m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
105	1 5 4 号橋	3.70	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
106	1 5 5 号橋	3.20	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
107	1 5 6 号橋	2.20	溝橋	不明	2023	I (5)	事後保全型	2028	
108	1 5 7 号橋	2.10	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
109	1 5 8 号橋	2.50	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
110	1 5 9 号橋	2.30	溝橋	不明	2023	I (M)	事後保全型	2028	
111	1 6 1 号橋	4.20	RC橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	
112	1 6 2 号橋	5.50	RC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
113	1 6 3 号橋	2.90	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
114	1 6 4 号橋	5.10	RC橋	不明	2022	II (3)	予防保全型	2027	ひび割れ注入, 断面修復, 床版防水
115	1 6 5 号橋	2.90	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
116	1 6 6 号橋	3.60	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
117	1 7 3 号橋	2.50	RC橋	不明	2022	I (5)	事後保全型	2027	
118	1 7 5 号橋	2.50	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
119	1 7 6 号橋	2.00	溝橋	不明	2023	I (5)	事後保全型	2028	
120	1 7 8 号橋	2.00	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
121	1 7 9 号橋	3.70	RC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
122	1 8 1 号橋	3.43	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
123	今泉橋	3.20	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
124	1 8 4 号橋	2.50	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
125	上河原浦橋	19.00	PC橋	1984	2021	I (4)	予防保全型	2026	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容 (2025年～2029年)
	橋りょう名	橋長 (m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
126	上河原橋	5.94	RC橋	1984	2021	I (4)	事後保全型	2026	
127	190号橋	3.40	溝橋	不明	2023	I (5)	予防保全型	2028	
128	191号橋	14.00	PC橋	1985	2021	I (4)	予防保全型	2026	
129	鶴松橋	9.20	RC橋	不明	2022	II (3)	予防保全型	2027	ひび割れ注入, 断面修復, 床版防水
130	馬船橋	12.58	鋼橋	1986	2021	I (4)	事後保全型	2026	
131	並木高架橋 1	12.00	PC橋	1977	2023	I (4)	予防保全型	2027	
132	並木高架橋 2	19.40	鋼橋	1973	2022	II (3)	予防保全型	2027	ひび割れ注入, 断面修復
133	202号橋	22.00	鋼橋	1968	2022	I (4)	予防保全型	2027	
134	204号橋	26.40	RC橋	不明	2023	II (3)	予防保全型	2028	ひび割れ注入, 断面修復, 剥落防止
135	205号橋	28.20	RC橋	不明	2023	II (3)	予防保全型	2028	ひび割れ注入, 断面修復
136	207号橋	3.50	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
137	208号橋	3.30	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
138	210号橋	4.40	RC橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	
139	211号橋	5.10	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
140	215号橋	3.60	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
141	かしわ台跨線橋	168.69	鋼橋	1996	2023	II (3)	予防保全型	2028	ひび割れ注入, 断面修復, 伸縮装置補修
142	218号橋	2.50	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
143	219号橋	4.30	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
144	302号橋	2.70	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
145	312号橋	24.90	鋼橋	1982	2023	I (M)	予防保全型	2028	
146	315号橋	7.30	PC橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容 (2025年～2029年)
	橋りょう名	橋長 (m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
147	3 1 7 号橋	4.70	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
148	3 1 9 号橋	5.00	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
149	3 2 0 号橋	2.00	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
150	3 2 2 号橋	7.10	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
151	3 2 3 号橋	2.50	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
152	3 2 6 号橋	2.00	RC橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
153	3 2 7 号橋	2.00	RC橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
154	3 2 8 号橋	2.00	溝橋	不明	2023	I (5)	事後保全型	2028	
155	3 3 0 号橋	2.50	RC橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
156	3 3 1 号橋	2.40	溝橋	不明	2023	I (5)	事後保全型	2028	
157	3 3 2 号橋	2.00	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
158	3 3 3 号橋	2.00	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
159	3 3 5 号橋	2.00	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
160	3 3 6 号橋	4.40	RC橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
161	3 3 7 号橋	3.30	RC橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	
162	3 3 8 号橋	2.90	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
163	3 4 1 号橋	3.00	溝橋	不明	2023	I (5)	予防保全型	2028	
164	3 4 3 号橋	2.00	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
165	3 4 4 号橋	3.00	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
166	3 4 5 号橋	2.80	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
167	3 4 6 号橋	5.50	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容 (2025年～2029年)
	橋りょう名	橋長 (m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
168	3 4 7 号橋	2.00	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
169	3 4 8 号橋	2.90	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
170	3 4 9 号橋	2.00	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
171	3 5 0 号橋	2.52	RC橋	不明	2021	I (4)	事後保全型	2026	
172	3 5 1 号橋	2.75	RC橋	不明	2021	I (4)	事後保全型	2026	
173	3 5 2 号橋	3.20	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
174	3 5 3 号橋	2.10	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
175	3 5 4 号橋	6.00	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
176	3 5 5 号橋	2.10	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
177	3 5 6 号橋	2.00	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
178	大和橋	19.90	PC橋	1983	2021	I (4)	予防保全型	2026	
179	3 6 1 号橋	2.00	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
180	3 6 2 号橋	2.00	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
181	平泉橋	17.66	鋼橋	1985	2022	I (4)	予防保全型	2027	
182	新竹沢橋	31.20	鋼橋	1983	2021	I (4)	予防保全型	2026	
183	3 6 7 号橋	2.23	RC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
184	3 6 8 号橋	2.20	RC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
185	3 6 9 号橋	2.10	溝橋	不明	2023	I (5)	事後保全型	2028	
186	3 7 1 号橋	2.30	RC橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	
187	3 7 2 号橋	3.10	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
188	3 7 5 号橋	6.60	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容 (2025年～2029年)
	橋りょう名	橋長 (m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
189	居合橋	3.30	溝橋	不明	2023	I (5)	事後保全型	2028	
190	3 7 7 号橋	3.00	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
191	3 7 8 号橋	2.40	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
192	東柏ヶ谷跨線人道橋	51.00	鋼橋	1983	2021	I (4)	予防保全型	2026	
193	3 8 1 号橋	20.00	PC橋	2000	2022	II (3)	予防保全型	2027	ひび割れ注入, 断面修復
194	3 8 2 号橋	2.60	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
195	下河内橋	19.80	PC橋	1990	2021	I (4)	予防保全型	2026	
196	3 8 4 号橋	7.70	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
197	3 8 5 号橋	2.60	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
198	3 8 6 号橋	2.30	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
199	門沢橋	27.40	PC橋	1989	2021	I (4)	予防保全型	2026	伸縮装置取替え
200	3 8 8 号橋	4.40	RC橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	
201	えのき橋	17.10	PC橋	1996	2021	I (4)	予防保全型	2026	
202	あゆみ橋	362.80	鋼橋	1995	2022	II (3)	予防保全型	2027	ひび割れ注入, 断面修復
203	吉久保橋	44.85	鋼橋	1967	2019	II (3)	予防保全型	2024	塗装塗替
204	3 9 1 号橋	3.60	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
205	宇治山橋	30.47	PC橋	2014	2021	I (4)	予防保全型	2026	
206	中道橋	17.50	PC橋	1999	2021	I (4)	予防保全型	2026	
207	無名橋 (仮)	18.80	鋼橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
208	旭橋	16.70	PC橋	1996	2021	I (4)	予防保全型	2026	
209	杉っこ橋	15.80	PC橋	不明	2023	I (5)	予防保全型	2028	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容 (2025年～2029年)
	橋りょう名	橋長 (m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
210	3 9 7 号橋	4.20	RC橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
211	柳原橋	23.20	RC橋	2018	2021	I (4)	予防保全型	2026	
212	柳原陸橋	23.30	RC橋	2019	2021	I (4)	予防保全型	2026	
213	4 0 5 号橋	5.40	RC橋	不明	2021	I (4)	事後保全型	2026	
214	並木橋歩道橋(鉾桁橋)	46.10	鋼橋	2022	-	-	予防保全型	2027	
215	並木橋歩道橋(斜張橋)	44.05	鋼橋	2021	-	-	予防保全型	2027	
216	郷ノ泉橋	22.10	鋼橋	2022	-	-	予防保全型	2027	
217	8 0 号橋	28.48	鋼橋	2020	-	-	予防保全型	2026	
218	清水橋	26.30	鋼橋	2023	2023	I (4)	予防保全型	2028	
219	清水前橋	25.80	鋼橋	2023	-	-	予防保全型	2028	
法定外	厚木駅跨線人道橋	42.40	鋼橋	1982	2019	III (2)	予防保全型	2029	ひび割れ注入, 断面修復

※補修設計等により対策の内容が変更することもあります。

※定期点検や日常パトロール及び緊急点検などの結果により、対策時期を変更することもあります。

※厚木駅跨線人道橋は当市管理の橋梁ですが、鉄道管理者との取り決めによって、道路法外の橋梁となっております。

※溝橋(ボックスカルバート):道路の下を横断する道路や水路等の空間を確保するために盛土あるいは地盤内に設けられる橋長2m以上かつ土被り1m未満のボックスカルバートのことをいう。